

「笑顔」を トレーニングする

近藤さんが40年来、続けてきた笑顔のトレーニング。名刺を口の奥に入れてくちびるで挟み、床と平行になる状態をキープするという方法ですが、割りばしやようじでも代用できます。実践すると口角は左右対称に上がり、笑顔の筋肉が鍛えられ、長時間、ほほえみを保てるようになります。自分の気持ちがあがる、人から感じよく見られる、そのうえ、頬をたるませないアンチエンジングにもなる、一石三鳥の簡単トレーニングです。



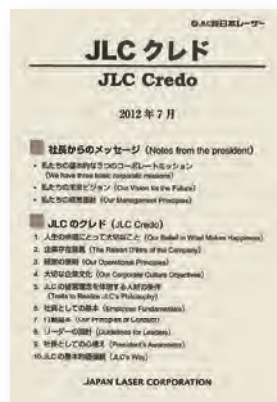
① IT能力給
② 英語能力給
③ 態度給
レーザー機器商社としてグローバルにビジネスを行う企業ですから、①

近藤さんは、社員満足、顧客満足、業績と、いずれも高い優良企業の経営者として、講演を依頼されるが増えました。そこではよく「笑顔は仕事です」と語るそうです。「笑顔なんかで儲かるのか」と言いたそうな顔で聞いているかたもいますけどね。僕に言わせれば、笑顔もなくて儲けられると思うなよ、です(笑)日本レーザーには、基本給に上乘せされる3つの手当て給が設けられています。

近藤さんは、世界で生き残っていくために「信頼」「魅力」「共感」を大事なキーワードに掲げます。これは上司と部下、会社と顧客、日本と諸外国など、立場は違っても、人間として対等であるための言葉でもあります。「真のおもてなしは対等な関係から生まれる」という近藤さんの信条ともつながるものです。

**真のおもてなしは
対等な関係から生まれる**

近藤さんは、世界で生き残っていくために「信頼」「魅力」「共感」を大事なキーワードに掲げます。これは上司と部下、会社と顧客、日本と諸外国など、立場は違っても、人間として対等であるための言葉でもあります。「真のおもてなしは対等な関係から生まれる」という近藤さんの信条ともつながるものです。



会社の理念や方針を謳った「クレド」。経営理念を体現する人材の条件として、「いつも笑顔を持ち続け、一緒に働いて楽しい人」の文章がま

「社長、お話があります」というときは、たいてい悪い報告ですが(笑)、笑顔で聞くわけです。そのほうが解決も早いんですね」さて、もう1つは、28歳の若さで

労働執行委員長となった近藤さんが悟ったことです。「まじめな顔で正論を言えば言うほど嫌がられる。やっぱかわいげって誰にとっても大事だし、笑顔ほど人の心を開かせてくれるものはない。自分、相手、会社をすべて守ってくれる。笑顔は最大の防御なんですよね」

※日本でいちばん大切にしたい会社大賞：過去5年以上、5つの条件(①リストラしない②下請・仕入先にコストダウンを強要しない③障害者雇用率は法定雇用率以上④黒字経営⑤労働災害がない)を守っている企業を対象にする賞。審査委員長は法政大学大学院教授・坂本光司氏。

30分間笑顔で話し続けた姿に感銘を受けた
日本レーザーの社長である近藤宣之さんに初めてお会いしたのは2011年の春、たちまち笑顔に惹きつけられました。それは、「第二回 日本でいちばん大切にしたい会社大賞」(※)の表彰式会場で、同社は中小企業長官賞(中小規模で特に優秀と認められる会社)の受賞企業でした。近藤さんは記念の短い講演をされたのですが、志もさることながら、レーザー機器商社というお堅いイメージの経営者が、30分間、笑顔で話し続けたことに感銘を受けました。

経歴を見ると、大学で工学を学んだ後、理工系の上場企業に入り、28歳で労働執行委員長に就任。1000人規模の人員削減を含む再建に直面し、海外転勤では支社の清算を指示され、倒産寸前だった子会社の日本レーザー(現在は独立した優良企業)に飛ばされ……と、けわしい表情になってもおかしくないキャリアなのです。栄えある受賞の席だとしても、「なぜこれほど笑顔でいられるのだろうか」と驚いたものです。

しかし、それができる人が少ない事実が証明しているように、簡単そうで難しいことも言えます。**「悪い報告ほど笑顔で聞く」**
近藤さんの笑顔力は、2つの出来事が発端となりました。いずれも、かつて日本レーザーの親会社だった上場企業時代の話です。

1つは、近藤さんは当時から人望があつたのでしよう、さまざまな現場の問題が耳に入ってくるため、よかれと思って当時の社長に進言しました。ところが、露骨に嫌な顔をされたそうです。「僕はそのとき、これは会社の危機だと思いました。トップがそんな顔をしたら、社員は問題を隠そうとしてしまう。そこで、もし自分が社長



日本レーザーが「日本でいちばん大切にしたい会社」として表彰される理由とは？

こんどう のぶゆき
交換留学生を経て、1968年慶應義塾大学工学部卒。日本電子に入社し、28歳で労働執行委員長に。94年、債務超過の子会社「日本レーザー」の再建のため社長就任。翌年、親会社の役員を辞めて日本レーザーに骨をうずめる覚悟を見せ、これが働く人の士気を大いに高める。黒字化に成功。2007年、日本レーザーの全社員・役員・嘱託が団結して株を買い取り、親会社から独立。13年、経産省「おもてなし経営企業選」選出。

「笑顔」ほど人の心を
開かせてくれるものはない。
笑顔は最大の防御です



取材・文 瀬戸川礼子

